

平成28年9月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 細 川 信 二

そ う せ い 武 内 伸 文

公 明 党 武 田 正 子

フロンティア秋田 倉 田 芳 浩

市 民 ク ラ ブ 安 井 誠 悦

社 会 ・ 市 民 連 合 長 澤 孝 政

秋 水 会 伊 藤 一 榮

秋 水 会 熊 谷 重 隆

秋 水 会 工 藤 四 郎



1 子育て環境について

(1) 保育環境の整備等について

- ア 障がい児保育事業費補助金を増額する考えはないか
- イ 「プレママ・プレパパ保育体験」を実施する考えはないか
- ウ 市役所内に事業所内保育所を設置する考えはないか
- エ ならし保育の期間を延長することはできないか

(2) 放課後児童クラブについて

- ア 放課後児童クラブの現状における課題は何か、また、課題解決に向けどのように取り組んでいくのか
- イ 保護者負担の軽減も考慮し、放課後児童クラブの委託費を増額する考えはないか、また、整備費について本市独自の助成を行う考えはないか

2 県・市連携文化施設及び芸術文化ゾーンについて

(1) 県・市連携文化施設について

- ア 同施設を整備するに当たり、本市が考えている「文化」とは何か
- イ 隣接する学校法人との交渉により、移転について了承が得られた場合、同施設に関する整備計画（案）の配置等を見直す考えはあるのか
- ウ 県民会館が使用できない約4年間は、ジョイナスでのバンド活動など市民の文化活動が停滞するほか、コンサート等が開催される機会が失われるなど大きな損失となるが、その間の市民等への対応に向けた市としての覚悟はどうか
- エ 昭和55年に建設された県児童会館はホール機能を有するが、今後のあり方や役割分担について県と協議しているのか
- オ 県・市連携文化施設の完成イメージとその完成後の市内文化施設のあり方を明確にした上で公表し、市民とともに同施設をつくり上げるべきと考えるがどうか

(2) 芸術文化ゾーンについて

- ア 民間が運営するライブハウスやイベント等とも連携したゾーンを形成する考えはないか

3 観光施策について

(1) インバウンド対策について

- ア 秋田駅、秋田空港及び道の駅あきた港等において、多言語デジタルサイネージを利用した観光案内を導入するとともに、多言語観光アプリ及びオフライン地図アプリなどを整備すべきと考えるがどうか

(2) 土崎神明社祭の曳山行事を含む山・鉦・屋台行事のユネスコ無形文化遺産登録及び北前船文化の日本遺産登録に係る地域振興の推進について

- ア この機会をとらえ、地域振興費を増額する考えはないか
- イ この機会をとらえ、観光面での強化を図る考えはないか

4 商業振興について

(1) 秋田市プレミアム付き商品券について

- ア 8億5,000万円の経済波及効果があった秋田市プレミアム付き商品券発行事業をなぜ今年度実施しないのか
- イ 地域振興を考慮し継続して行っていく考えはないか

5 地域の諸課題について

(1) 防犯カメラについて

- ア 地域における防犯カメラの必要性をどのように考えているのか
- イ 町内会等でも防犯カメラを設置できるよう補助制度を設ける考えはないか

(2) 通学路の街灯について

- ア 通学路の街灯をふやす考えはないか

(3) 街区公園へのトイレ設置について

ア 市民の利用頻度が高い街区公園にトイレを設置する考えはないか



1 人口減少社会への対応について

(1) 秋田市人口ビジョンについて

ア 同ビジョンから想定される将来の本市財政の姿について、どのように考えているのか、また、事業の縮小など市民サービスへの影響はどうか

イ 同ビジョンでは、2040年の本市の人口を約26万人とし、合計特殊出生率2.07、純移動率を5年ごとに半減させることなどで実現するとしているが、その根拠は何か

(2) 公共施設のあり方について

ア 秋田市市有建築物中長期保全計画における今後40年間の試算では、長寿命化を図った場合にあっては期間全体において、年間約23億円の公共施設の維持管理に係るコストの削減が求められるとされている中、施設整備に当たっては、その判断にガイドラインがあるべきと考えるがどうか

イ 浄水場のダウンサイジングや集約化を検討すべきではないか

ウ ごみ処理施設やし尿処理施設について、行政間連携による広域的な活用を検討すべきではないか

エ 学校再編等について

(ア) 今後の本市のまちづくりを踏まえ、小中学校再編の進め方についてどのように考えているのか

(イ) 将来的に児童生徒が減少していく中で、学校に余裕教室が生じた際の活用方法として、複合利用などを検討すべきと考えるがどうか

(ウ) 廃校となることが決まった際には、コミュニティースペースや企業誘致などの民間活用について、県内外から広く公募することを検討してはどうか

(3) Aターン希望者への対応について

ア Aターン希望者に対するアプローチが必要と思うが、どう考えて

いるのか

イ Aターン希望者に対する有効なサポートについて、どのように考えているのか、また、サポートの一案として、将来的に倍増する空き家を活用する考えはないか

(4) 県都秋田市としてのダム機能について

ア 県内他市町村から就職や進学で県外へ移住を検討している者を対象に、本市の就職や進学に関する情報を積極的に提供すべきではないか

## 2 公共交通のあり方について

(1) 本市の交通システムのあり方の大方針として、車中心の社会から、車と公共交通が共存する社会づくりへのシフトを明言することが重要と考えるがどうか

(2) 高いサービス水準と速達性、定時性をあわせ持つ公共交通軸と、その周辺をつなぐ交通結節点を定義することが重要と考えるが、それぞれをどう想定しているのか

(3) 今後の本市のバス路線は、今後のまちづくりに見合った形に再編することが求められると考えるが、その際、市が主導的立場で進めるべきではないか

(4) マイタウン・バスの運行に際し、経常損失が大きい路線については利用状況を把握し、運行形態を見直すべきではないか、また、試験的に定時定路線型をデマンド型に切りかえ、検証する考えはないか

(5) バス利用を促進するため、バスロケーションシステムの構築、屋根及び広告つきバス停の整備、ルートマップ情報の提供並びにICカードの活用のそれぞれの検討状況と実現の可能性はどうか

(6) 乗り合いタクシーなどで地域内の主要な施設を結ぶ地域内交通について、どのように認識しているのか、また、本市でも導入する考えはないか

(7) 外食機会の創出を目的としたナイトバスの運行を検討する考えはないか

### 3 地域コミュニティのあり方について

#### (1) コミュニティセンターの建設について

ア 建設の判断基準と今後の建設計画について

イ 市長公約として掲げられたコミュニティセンターの建設は、地域のまちづくりの将来像を考慮した結果なのか

#### (2) 7地域の市民サービスセンターの完成に伴い期待される効果と実績はどうか

#### (3) 地域づくり交付金について

ア 交付期間終了後も事業が継続できるよう指導をしてはどうか

イ 数多くの提案がある中で、他の地域でも有効と思われる事業については、事例発表にとどめず、他地域へ展開する仕組みをつくるべきではないか、また、当該事業を実施しようとする団体のために予算の一定枠を確保する考えはないか

### 4 中心市街地の将来像について

(1) 第2期秋田市中心市街地活性化基本計画には、中心市街地へのアクセスの向上や区域内の移動のしやすさ、滞留時間の延長などに関する施策についても盛り込むべきではないか

(2) 公営駐車場の料金やサービスの見直し、駐輪場の整備などについても検討する時期ではないか

(3) 仲小路商店街へ屋根をかけることやお堀の周りに遊歩道を整備するなど、歩行動線に配慮したまちづくりを進めていくべきではないか

(4) 循環バスぐるるについて、これまでの運行実績や将来的な中心市街地の姿をかんがみ、本数増やルート延長、双方向化などを検証し、改善すべきと思うがどうか

### 5 県・市連携文化施設について

(1) 3,000人以上のコンベンションのニーズと対応方針をどう考えているのか

- (2) 少人数公演のニーズに対応するため、配置計画の見直しをいとわずリハーサル室の拡充を図るべきではないか
- (3) 隣接地の使用が可能となった場合、駐車場以外の用途を含め、全体の配置を見直すべきと考えるがどうか
- (4) コンスタントな人の流れをつくるため、中土橋側の敷地内に複数の飲食店を誘致し、千秋公園への参道機能を持たせるとともに、バリアフリーに対応した施設への出入り口をつくる考えはないか
- (5) 文化会館の利活用について、民間からアイデアを募集し、売却を含めた新しい運営のあり方を模索する考えはないか

## 6 千秋公園の整備について

- (1) 中心市街地活性化の観点から、都市公園法の枠組みの中で、二の丸や本丸へカフェのようなスペースをつくることはできないのか
- (2) 今後の同公園の周辺環境整備やその位置づけを踏まえた公園としてのあり方について、どのように考えているのか

## 7 スマートウェルネスシティを目指して

- (1) 市民の健康寿命を延ばす取り組みを、市長を先頭に部局横断的に行っていく考えはないのか、また、スマートウェルネスシティの取り組みを検討する考えはないか
- (2) 公共交通や自転車の利用、歩くことを推奨する条例を設定する考えはないか

## 8 子育て環境について

- (1) 送迎バスなどを活用し、一定のエリアごとに時間外延長や休日保育を集約する仕組みをつくることはできないか、また、休日の時間外保育の実施についてはどうか

## 9 手話言語条例の設定等について

- (1) 市民に手話が言語であることを啓蒙するため、どのように取り組ん

でいるのか、また、今後の取り組みについてどのように考えているのか

(2) ICTを活用したろうあ者とコミュニケーションできる環境づくりについて、今後どのように取り組んでいくのか

(3) 手話言語条例の設定について、どのように考えているのか

#### 10 ロシアとの貿易について

(1) ロシア航路開設の可能性はどうか、また、ロシアとの貿易に関する経済効果を試算してみるべきではないか

#### 11 市民力の活用について

(1) ちば市民協働レポートのような市民レポートシステムの導入に関する検討状況はどうなっているのか

(2) オープンデータの取り組みについて、どのように考えているのか

#### 12 「SAKEミュージアム」の整備について

(1) 中心市街地に「SAKEミュージアム」を整備し、インバウンドへの対応や市民のコミュニティースペースを創出する考えはないか

#### 13 大森山動物園について

(1) 動物園と音楽とのコラボなど、新しい魅力発信を進めることは、新たな入園者層の開拓につながると思うが、今後の取り組みについてどう考えているのか

(2) 竿燈まつりや大曲の花火など、多くの観光客が滞在する期間限定で、秋田駅から同動物園へのバスの直行便などを運行する考えはないか



1 災害に強いまちづくりについて

- (1) 想定外の大規模な災害に対する事前防災に、どのように取り組んでいるのか
- (2) 国土強靱化地域計画を策定し、事前防災及び減災に資する施策を計画的に進めるべきと考えるがどうか
- (3) 水害対策について
  - ア 水害に備え、土のうをどのように保有しているのか
  - イ 土のうステーションを設置するとともに、自主防災組織や市民に周知し、市民と協力して水害対策を講じるべきと考えるがどうか
- (4) 自主防災組織と連携した防災訓練について
  - ア アンケート調査による自主防災組織の活動の実態や課題はどうか
  - イ 調査結果を踏まえ、各地域の特性に応じた防災訓練のあり方をどのように自主防災組織へ提案するのか

2 女性の活躍の推進について

- (1) 「女性が活躍する社会」を市長はどのように考え、どのように実現しようとしているのか
- (2) 市職員の女性管理職の登用について、現状、成果及び今後の取り組みはどうか
- (3) 男女ともに働きやすい職場環境の整備を図るため、本市の職員の勤務形態の一つとして、テレワークを試験的に導入する考えはないか

3 障がい福祉について

- (1) 発達障がいの早期発見について
  - ア 1歳6カ月児健診及び3歳児健診時における、発達障がいの早期発見の現状はどうか
  - イ 2歳児の健診時に、歯科だけでなく、身体測定や親子遊びを行い、子供の発達を確認するとともに、不安を抱えている保護者の相談に

応じてはどうか

(2) 放課後等デイサービスについて

ア 本市のサービスの利用状況はどうか

イ 市が研修会を開催し、サービスの質の向上や施設間の情報共有を図るべきと考えるがどうか

4 外国人児童生徒への日本語指導について

(1) 日本語指導が必要な外国人児童生徒に対し、初期対応を含め、どのように対応しているのか

(2) 外国人児童生徒が学級で受け入れられるよう、日本語指導支援サポーター配置校で多文化共生教育の取り組みを行うべきと思うがどうか

(3) 日本語指導支援サポーター研修に、教頭等の参加を求めるべきと思うがどうか

(4) 日本語指導支援サポーターの指導レベルの確保やサポーター同士の情報交換はどのように行っているのか、また、公益財団法人秋田県国際交流協会など、他団体との連携や情報交換の状況はどうか

(5) 秋田市教育ビジョンに外国人児童生徒教育を位置づけ、学校教育の一環として取り組む姿勢を明確にすべきと思うがどうか

5 がん対策等について

(1) がん予防のために、中学生を対象に出前講座を行い、がんに関する正しい知識やがん検診の大切さを教えてはどうか

(2) がん患者の就労や社会参加を応援するとともに、療養生活の質の向上を図るため、医療用ウィッグ購入費用を助成してはどうか

6 18歳選挙権について

(1) ことし7月の参議院議員通常選挙における、本市の18歳及び19歳の年齢別投票率と、選挙前に行った主権者教育の取り組みとの関係について、どのように分析しているのか

(2) 主権者教育に係る出前講座を、市内すべての高等学校で行うべきと

考えるかどうか

- (3) 秋田大学での期日前投票所設置の成果と課題はどうか、また、今後も引き続き、大学に期日前投票所を設置する考えはないか



1 社会福祉法人の指導監査等について

- (1) 社会福祉法人が行う入札の公告については、同法人の施設内の掲示場に張り出すだけでよいのか
- (2) 社会福祉法人は、理事会において議案とされていない案件を審議することはできるのか
- (3) 社会福祉法人が、定款に定めていない事業を進めることは、民法第34条に反するのではないか
- (4) 「社会福祉施設整備に係る契約マニュアル」では、補助対象事業としない契約の場合も契約手続は補助対象事業に準じて行うこととあるが、準ずるとの意味は何か
- (5) 本来であれば一般競争入札にすべき工事契約について、指名競争入札にできる合理的な理由とは、一般的にどのようなものか
- (6) 福祉事業に用いるために購入した土地は、法人の基本財産に組み入れなくてもよいのか
- (7) 落札業者が、当該案件にかかわる土地探しや売買に関与することに問題はないのか
- (8) 市が公募する福祉事業について特定の応募者が有利になるように、本市担当課などに民間業者等が口ききをすることはあるのか

2 環境問題について

(1) 家庭ごみについて

- ア 有料化の目的は何か、また、その目的を市民は理解していたと思うか
- イ 副次的に期待されていたCO<sub>2</sub>削減は、どの程度進んだのか
- ウ ごみ減量が主目的であれば、プラスチックの分別を行うべきではないのか
- エ 有料化を導入する1年前からのCO<sub>2</sub>総排出量の推移について、どのように見ているのか

(2) ばい煙発生施設等について

- ア 施設への抜き打ち検査や、緊急の立入検査をした例はあるのか
- イ 本市と公害防止に関する協定を結んでいる事業所からの測定結果報告書に、データの不正はないのか

(3) 秋田港火力発電所（仮称）について

- ア 同発電所の稼働に伴い、CO<sub>2</sub>の年間排出量はどの程度と想定されるのか
- イ 同発電所から排出される硫黄酸化物や窒素酸化物はどの程度か、また、ばい煙の濃度は、本市のばい煙発生施設と比較した場合はどうか

(4) 浄化槽を設置している事業者等に対する検査はどのように行っているのか

3 予防接種事業について

- (1) 委託料の積算根拠はどうなっているのか
- (2) 初診料と乳幼児加算の重複請求は見直すべきではないのか
- (3) 予防接種について、同時接種したことが把握できるようデータ管理を行うべきではないか

4 人工芝整備施設の利用等について

- (1) 本市では人工芝の充てん剤として、ゴムチップや珪砂を使用しているのか、また、ゴムチップを使用している場合はその原料は何か
- (2) 充てん剤として使用される黒ゴムチップに、発がん性物質が含まれていることが疑われているが、人体に与える影響をどのように認識しているのか、また、珪砂の安全性についてはどうか
- (3) 酸性雨により黒ゴムチップが自然環境に与える影響について、どのように認識しているのか

5 県・市連携文化施設等について

- (1) 文化会館建設の目的は何であったのか

- (2) 県は他の県有施設との統合は考えていなかったのか
- (3) 駐車場候補地として、交渉を進めている私立高校の移転補償費及び土地の確保に要する費用は幾らか
- (4) 駐車場利用者について、どのように想定しているのか
- (5) 社会資本総合整備計画の進捗状況はどうか、また、費用便益比の値はどうか
- (6) ライフサイクルCO<sub>2</sub>は計算の上で考慮されているのか
- (7) 文化会館の解体は、環境立市の確立を目指しクールチョイスを宣言する本市にとって矛盾するのではないか

## 6 新庁舎について

- (1) コンクリートの打設や仕上げについては、施工上問題はなかったのか
- (2) コンクリートにひび割れも確認されるが、どのような補修工事を行うのか、また、完成後どのような補修工事が行われてきたのか
- (3) 当初想定していた光熱水費の需要見込みと実績に乖離はないのか
- (4) 新庁舎の設計の際に算出したライフサイクルCO<sub>2</sub>の排出量は幾らか、また、今後、CO<sub>2</sub>削減に向け改善できる点はあるのか

## 7 市道の改修について

- (1) 市道の改修が進まずかまぼこ型になっていたり、路側帯付近に勾配がついている道路状況をどうとらえているのか
- (2) 歩行者等の安全面を考えるならば、大幅な改修を含め早期に検討すべきと思うがどうか

## 8 市政の諸課題について

- (1) (仮称)土崎みなと歴史館の完成後、ねぶり流し館の展示物に大幅な入れかえはあるのか
- (2) 選挙投票日に、既存の投票所に加え共通投票所を設ける考えはないのか

- (3) 使途不明金を出している会社が、指定管理者となっているとの情報があるが、事実であればどのような対応をとるのか
- (4) 都市計画の変更等、市の重要な意思決定プロセスに関しては、きっかけから決定に至るまでの情報を記録しておくべきと考えるがどうか

## 1 秋田市国民保護計画について

- (1) 北朝鮮が発射したミサイルの弾頭が日本海沖に落下したことを受け、本市の国民保護計画に定めている、武力攻撃事態等の認定が行われる前の段階における、不測の事態に備えた即応体制などの初動対応がとられたのか
- (2) 全国瞬時警報システム（Jアラート）からの情報を受けた場合、同報系無線設備を有しない本市は、どのようにして市民に情報伝達をするのか

## 2 ごみのない持続可能な高度循環型社会について

- (1) 秋田市環境基本条例第3条の基本理念にある「資源の適正な管理および循環的な利用等の推進により、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築」するため、家庭系及び事業系一般廃棄物を含めた、すべてのごみを資源として循環させる、ごみという言葉のない、持続可能な高度循環型社会を構築する考えはないか

## 3 ねんりんピック秋田2017の準備状況について

- (1) 「秋田らしさ」は、大会を通してどのようなところに取り入れられるのか
- (2) 食中毒の発生を予防するなどの食品衛生及び大会参加者の傷病発生に対応する医療救護体制はどのようなになっているのか
- (3) 大会参加者の輸送について、各種目の特性及び配宿状況に応じて十分配慮された計画となっているのか

## 4 県・市連携スポーツ施設について

- (1) ブラウブリッツ秋田のJ2昇格の要件を満たすスタジアム整備について、県との協議内容はどのようなものか、また、検証をどのように行ったのか

(2) スタジアム整備の是非も含め、その方向性を検討する検討委員会を、県及び有識者を交えて設置する考えはないか

5 農業委員会制度改革について

(1) 農業委員の選出について、公選制の廃止により、農業委員が一定の地域に偏るといったリスクはないのか、また、これまでの農業関連団体推薦や女性委員の登用についてはどのように考えているのか、さらに、任命の過程の公平性・透明性をどのように確保していくのか

(2) 農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数などの組織体制について、これまでどのような検討をしてきたのか、また、それぞれの候補者を選定するまでのスケジュール及び権限などの役割分担はどうなっているのか

6 自殺対策基本法の改正について

(1) ことし4月に施行された自殺対策基本法の改正は、本市の自殺対策にどのような影響を与えたのか、また、その改正を踏まえ、これからの自殺対策をどのように推進していくのか

## 1 地方財政の充実・強化について

- (1) 地方創生の実現に向けた取り組みを推進するため、平成28年度地方財政計画に計上された「まち・ひと・しごと創生事業費」の拡充を図るとともに、地方創生推進交付金の拡充を図るべきと考えるがどうか
- (2) 消費税率引き上げの延期が、子供・子育て等を初めとする地方自治体の社会保障施策の取り組みに影響を与えないよう必要な財源を確保すべきと考えるがどうか
- (3) 地方交付税の総額確保を国に対して強く求めるべきと考えるがどうか

## 2 豪雨による浸水被害対策について

- (1) 局地的豪雨が多発していることから、計画的に浸水被害対策を進めるべきと考えるがどうか
- (2) 下水道雨水幹線の整備について、現在の進捗状況と今後の予定はどうか
- (3) 土崎駅構内や土崎駅東口周辺地域等への浸水被害の解消、軽減のため整備を進めている新城川左岸3-1号幹線について、完成を前倒しする考えはないか

## 3 環境対策について

- (1) 水銀対策について
  - ア 本年2月に環境省のモデル事業として実施した、不要な水銀製品の回収の成果はどうか
  - イ 今後、市ではどのように水銀製品を回収し、処分するのか
- (2) 地球温暖化対策について
  - ア あきエコどんどんプロジェクトの事業内容と取り組み実績はどうか
  - イ 来年度以降、同プロジェクトをどのように展開していくのか

#### 4 市内の小中学校へのエアコン設置について

- (1) 現在の設置状況はどうか
- (2) 年次計画を立てて、設置を進めるべきと考えるがどうか

#### 5 消防体制の充実について

- (1) 消防署、消防車両及び職員の配置は、これまでの体制を維持してきているが、現在の本市の規模に見合う体制となっているのか
- (2) 老朽化した消防署の再配置・再整備は計画的に進める必要があると思うがどうか、また、その際は地域の人口や特性などを考慮するべきと思うがどうか

#### 6 職員のストレス対策について

- (1) 新庁舎移転・入居に伴う職場環境の変化によるストレスを抱えている職員はいないのか
- (2) 昨年度試行的に実施した職員ストレスチェックでは、どのような結果が得られたのか、また、どのように対応したのか
- (3) 今後も職員のストレス対策を講じていくべきと考えるがどうか

1 商工業の振興について

- (1) 企業誘致の現状をどうとらえているのか、また、成長が期待される、電子・輸送機関連、医薬・医療機器関連及びICT・情報通信関連産業等の誘致の取り組みとその可能性はどうか
- (2) これまでの中小企業に対する融資あっせん制度などの金融対策事業及び商工業振興奨励措置事業における助成金の利用実績と効果はどうか、また、時代のニーズに合った見直しについて、どう考えているのか
- (3) 商業及び製造業の事業所数、従業者数、年間販売額、製造品出荷額それぞれが減少していることに対する認識とその対応策について、どう考えているのか
- (4) あきた創業サポートファンドへの本市のかかわり方についてはどうか、また、同ファンドの投資状況と今後の展望について、どう考えているのか
- (5) アンダー35正社員化促進事業について、申請状況及び今後の事業継続についての考えはどうか
- (6) 秋田港国際コンテナ定期航路について
  - ア 本市の取り組みと課題について
  - イ 秋田港シーアンドレール構想の今後の展望について

2 農業振興について

- (1) 農地集積の推進について
  - ア 圃場整備の現状と課題及び今後の進め方について
  - イ 農地中間管理事業の現状と課題はどうか
- (2) 意欲ある担い手の育成について
  - ア 本市の担い手育成施策の現状と課題について
  - イ 就農希望者に対する一貫したサポート体制の構築について
- (3) 大規模乾燥調製施設等の整備状況と今後の取り組みについて

(4) 6次産業化と農商工連携について

- ア 6次産業化関連事業の推進における基本的な考え方と、これまでの成果及び評価について
- イ 今後の農商工連携による事業展開と目指すべき姿についてどう考えているのか

3 交流人口の拡大と移住促進について

(1) 観光文化スポーツ部の施策について

- ア 観光・文化・スポーツ各分野を融合させた事業を立ち上げるべきではないか
- イ 文化及びスポーツ振興に関する施策については、どのように進めていくのか

(2) インバウンドの促進について

- ア 秋田ソウル国際定期便の再開の可能性はどうか、また、再開に向けた本市の対応はどうか
- イ 東アジア地域からの観光誘客の拡大に取り組むべきと思うがどうか

(3) 移住の促進について

- ア 空き家定住推進事業、多世帯同居・近居推進事業及び創業支援事業の利用実績と課題及び今後の環境整備について
- イ 「子育て世代の移住促進等に係る連携・協力に関する協定」の内容と本市の対応はどうか

4 環境行政について

(1) ホタル生息環境保全事業について

- ア 今年度の取り組み状況はどうか、また、蛍の生息できる環境づくりに取り組んでいる団体数はどれくらいあるのか
- イ 蛍によるまちづくり事業として、蛍の飼育や、蛍のえさとなるカワニナ等の養殖に取り組むべきではないか

(2) あきたスマートシティ・プロジェクトについて

- ア 5年間の取り組みの成果、評価及び課題について
- イ 今後の取り組みの方向性はどうか

5 福祉行政について

(1) エイジフレンドリーシティの実現について

- ア 4年間の取り組みの成果、評価及び課題について
- イ 次期行動計画策定の方針についてはどうか

6 若い世代の育成支援について

(1) 奨学金制度等について

- ア 貧困や家計の経済的支援のため、大学生等を対象とした本市独自の奨学金制度を創設するべきではないか
- イ 修学一時資金緊急支援金交付事業のあり方についてどうか、また、民間教育ローンへの利子補給廃止の理由は何か

(2) シングルズカフェ秋田について

- ア これまでの実施状況、成果及び課題並びに参加者の評価について
- イ 今後の方向性についてはどうか

7 市有財産等について

- (1) 旧環境部庁舎、八橋別館及び道路維持課管理棟の利活用について、  
どうか

8 市民サービスセンター等について

- (1) 今年度の新たな権限移譲件数と主な業務内容について
- (2) 権限移譲された業務について、地域住民へどのように周知しているのか
- (3) 各市民サービスセンターにおける権限移譲に関する予算及び職員数は、十分確保されているのか、また、駅東サービスセンターの職員を増員するべきではないか

9 地域の諸課題について

- (1) 芝野橋の早期かけかえを実現するべきではないか
- (2) 御野場団地内の街路樹及び御野場南部街区公園の樹木剪定等を行うべきではないか、また、同団地内の歩道の補修等を行う必要があると思うかどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 参議院議員通常選挙の結果について

ア 市長は選挙の結果をどう受けとめているのか

イ 安倍首相は、第3次安倍第2次改造内閣の最大のチャレンジとして「働き方改革」を掲げているが、市長の考える理想の「働き方」とはどのようなものか、また、この改革に特に期待することは何か

(2) 北朝鮮による弾道ミサイルの発射について

ア 本市に対して関係機関からの十分な情報伝達はあったのか

イ 県においては緊急の幹部会議を開いたとのことであるが、本市における対応はどうだったのか

ウ 市民生活の安全・安心を確保する観点から、北朝鮮の行為に抗議し、政府に対して断固たる対応を求めるべきと考えるがどうか

エ 次に発射されたときのために、どのような備えをしているのか

(3) 新幹線誘致について

ア 県と一体となって、フル規格の新幹線誘致に取り組むべきと考えるがどうか

2 市政運営について

(1) 新・県都『あきた』成長プランの市民への周知について

ア 市長みずからが各地域に出向いて周知を図ることが望ましいと考えるがどうか

(2) 北前船文化の日本遺産登録について

ア どのような経緯で北前船寄港地日本遺産登録推進協議会の発足に至ったのか

イ 文化庁から認定された場合、本市のまちづくりにどう生かしていくのか

(3) 市有財産の処分について

ア 市有地の売却をより積極的に進め、なお一層の財源確保に努める

べきと考えるが、過去5年間の売り払い実績はどうなっているのか、また、今後の取り組みについてはどうか

(4) 中心市街地の活性化とにぎわいの創出について

ア エリアなかいちを含む中心市街地の現状をどうとらえているのか

イ エリアなかいちの商業施設の現状は、市街地再開発事業の結果として市民の理解を得られていると考えているのか

ウ 佐竹史料館を旧県立美術館に移転することが望ましいと考えるがどうか

(5) 防災対策について

ア 災害時における市民への情報提供の手段及び自主防災組織との連携はどのようになっているのか

イ 各市民サービスセンターにおける防災体制は確立されているのか

ウ 夜間における総合防災訓練を実施し、市民の防災意識を高めてはどうか

エ 消防団員の確保策として、各企業との連携を図り協力体制を築いていくことが肝要であると思うがどうか

オ 小中学校における防災教育はどのように行っているのか

カ 爆破予告があった場合の対応についてマニュアルを作成し、各施設管理者に対し周知徹底すべきと考えるがどうか

(6) 東北六魂祭の継続開催について

ア 実行委員会における協議内容はどうだったのか、また、本市の考えはどうか

(7) 農業施策について

ア 本市においても米に依存した農業からの脱却を進めているが、畑作などとの複合経営が難しいとされる小規模農家をどう支援しているのか

イ 減反政策が2018年度をめどに廃止され、実質的にも米の生産が自由化されると思うが、本市の対応策と農家への指導はどうなっているのか

ウ 過去に佐竹知事が「秋田の農業を維持するためには米を極限まで

減らす決断すら必要である」旨の発言をしているが、市長の考えはどうか

3 参議院議員通常選挙における選挙啓発について

- (1) 投票率向上のため、どのような対策を講じたのか
- (2) 選挙権年齢が引き下げられたことに伴う新たな有権者に対して、どのような啓発活動を行ったのか
- (3) 本市における市立高等学校での主権者教育にどのように取り組んできたのか、また、今後についてはどうか



1 市長公約について

- (1) 公約の達成度をどのようにとらえているのか、また、未達成項目の実現見込みはどうか
- (2) 市長は、公約達成のため、残りの任期をどのような心構えで取り組んでいくのか
- (3) 公約の実現が市政を健全な方向に進めるための課題の解決となるのか

2 第13次秋田市総合計画等について

- (1) 基本構想及び推進計画をどのように実践していくのか
- (2) 総合計画、秋田市人口ビジョン及び秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係はどのようになっているのか
- (3) 総合戦略に掲げる各基本目標が達成された場合、人口減少対策として成果が上がるのか、また、結果が目標に対して未達成となった場合にはだれが責任を持つのか
- (4) 今後の行政運営は、人口減少を食いとめながらも、推計される将来人口に合わせた独自の運営をしていくことも考えるべきと思うが、市長の見解はどうか

3 人事行政について

- (1) 市長が目指す理想の職員像について
- (2) 新規採用職員を理想の職員とするために、どのような研修、指導等を行っているのか
- (3) 定期的な研修より、上司から部下への日ごろの指導が重要と思われるが、そのような指導は行われているのか
- (4) 上司が部下を評価する人事評価制度が確立しつつあるが、本制度は実際に昇格等の人事異動につながっているのか
- (5) 再任用職員について、一般職とは異なる専門職として配置すること

により、お互いに働きやすくなると思うがどうか

(6) 再任用職員の人事評価も必要と思うがどうか

#### 4 国民健康保険について

(1) 本市における運営状況はどうなっているのか

(2) 国民健康保険制度改革について概要はどうか、また、本市の準備状況はどうか

#### 5 第2期秋田市中心市街地活性化基本計画について

(1) 同計画に定める中心市街地は、中心市街地の活性化に関する法律におけるどの要件に該当する区域なのか

(2) 同計画の推進は市が行うものと考えてよいか

(3) 同計画を推進するためには、民間事業者を支援しない限り成果が上がらないと思うが、民間事業者を支援する考えはあるのか

(4) 県・市連携文化施設や芸術文化ゾーンが中心市街地の活性化にどのような役割を果たすことを期待しているのか

(5) 中心市街地の活性化は、どのような状態になれば目的を達成したと言えるのか

#### 6 空き家対策について

(1) 空き家対策の対象となる空き家とはどのような状態を指すのか

(2) 空き家の発生原因はどのようなものととらえているのか

(3) 今後、空き家がふえ続ければ住宅街はどのような町並みに変貌すると考えているのか

(4) 空き家状態を解消するような空き家対策を検討すべき時期だと思うがどうか

#### 7 国際教養大学とのかかわりについて

(1) 本市が同大学に対して、これまで財産として提供した額は幾らか

(2) 県職員や本県出身者が、同大学に関係しているにもかかわらず、

- 「秋田市にある大学」の位置づけが乏しいと感じるがどうか、また、市民も市内にある大学との意識が薄いと思うがどうか
- (3) 本市は、同大学にもっとかかわりを持つべきと思うがどうか